DOKIGAWA

リバーキーパーズ

RiverKeepers つうしん

Vol.256（令和8年10月）

秋晴れの心地よい季節となりました。リバーキーパーズの皆様はいかがお過ごしでしょうか？日中には暖かさが残る一方で、朝晩は涼しさが増し、季節が確実に秋へと移り変わっていることを感じます。

澄み渡る青空や色づき始めた木々など、河川や水辺の風景にも少しずつ秋の気配が広がっています。また、秋は行楽やスポーツ、地域活動など、さまざまなイベントが行われる季節でもあります。過ごしやすい気候の中、多くの人が屋外へ足を運び、地域の魅力や自然の豊かさに触れる機会が増える時期です。

そうした中、今月は『堤防決壊シミュレーション』、『多度津町消防団　水防工法講習会・訓練の実施』、『土器川源流碑清掃』についてお知らせします。

○堤防決壊シミュレーション　～地震編～

９月29日（火）に、地震による堤防決壊を想定した『堤防決壊シミュレーション　～地震編～』を開催しました。近年、全国各地で震度6以上の地震が毎年のように発生しています。また、県においては、南海トラフ地震に伴う津波による浸水想定が公表されています。液状化による堤防沈下や津波による浸水などのリスクが想定されており、土器川沿川においても津波による浸水のおそれがあるとされています。このため、河川の実態や現場状況を踏まえたシナリオを設定し、地震による堤防決壊発生時の対応についてシミュレーションを行いました。具体的には、復旧工法の選定、資材や重機の確保、運搬ルートの確認、河川状況の観測・監視体制の構築など、多岐にわたる課題について検討を重ねました。こうした取組を継続的に実施することで、災害発生時における迅速かつ的確な応急復旧体制の強化と災害対応力の向上を図っています。



復旧工法検討の様子



被災状況確認の様子



検討結果発表の様子



検討結果発表の様子

○多度津町消防団　水防工法講習会・訓練の実施

近年、気候変動の影響による災害の激甚化・頻発化が進み、河川の増水に伴う堤防の決壊や越水などによる甚大な被害が全国各地で発生しており、防災力の強化が重要な課題となっています。そうした中で多度津町消防団より水防工法訓練の要望をいただき、９月２７日(日)に消防団員約５０人程度が災害対応に関する知識及び技術の向上を目的として、水防工法講習会及び訓練を実施しました。

講習では、近年各地で発生した豪雨災害や過去の洪水事例を踏まえながら、水防活動の重要性や各種水防工法の概要について理解を深めました。訓練では、ロープワークの基本技術を確認した後、改良積み土のう工及び改良積み土のう工Ⅱ型の施工訓練を行い、参加者たちは、お互いに声をかけながら作業手順や役割を確認し、実際の出水時を想定した実践的な訓練に取り組みました。


座学の様子


ロープワークの様子


水防工法の様子

○土器川源流碑清掃

１０月２２日（木）、土器川源流碑（平成１５年１１月建立）の清掃活動を実施しました。当日は、四国地方公益活動推進会議と協働し、多くの有志が参加して源流碑周辺の環境整備に取り組みました。土器川源流碑は、香川県まんのう町と徳島県三好市の境に位置しており、国道４３８号を南下し、落合神社付近から県道１０８号へ入り山道を進んだ先にあります。碑の近くには清らかな湧き水があり、豊かな自然を感じることができる場所です。参加者一人ひとりが思いを込めて作業に取り組み、源流碑周辺に繁茂した草木の除去を行いました。作業前と作業後を比較すると、その変化が一目で分かるほど美しく整備されました。源流を守り、美しい自然環境を次世代へ引き継いでいくために今後も関係者や地域の皆様と協力しながら、土器川の美しい源流を守るための活動を継続していきます。


清掃の様子


清掃の様子


清掃を終えての集合写真

土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。
土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしと ご意見をお寄せください。

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは

国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32
TEL:087-821-1619(工務第一課直通)　FAX:087-821-1713

